

うみまちサポート助成（小豆島セミオープンシステムを利用される場合）のご案内

小豆島セミオープンシステムを利用される場合の島外出産費用等の助成について

小豆島中央病院を受診し、小豆島セミオープンシステムの対象と判断され、小豆島中央病院と連携する島外病院（香川大学医学部附属病院、香川県立中央病院、高松赤十字病院）において出産する妊婦に対し、交通費及び滞在費等を補助することで、経済的負担の軽減を図り、健やかな出産ができるように支援するもの

助 成 対 象	助 成 内 容	助 成 金 額
①妊婦健診に要する費用	・連携病院での妊婦健診を受ける際の交通費 ・フェリー等の欠航に伴い生じた宿泊費	実費 ※1 交通費の考え方を参照 実費（1泊10,000円を上限）
②ー1 連携病院で出産するための滞在などに要する費用（事前申請あり）	・連携病院で出産するための滞在費 ア. ホテル・旅館等の宿泊費 イ. マンスリーマンションの賃貸契約料等 ・事前滞在にかかる準備金	※準備金以外は出産後精算 ア. 実費（1泊10,000円を上限）×宿泊数（100,000円を上限） イ. 実費（210,000円を上限） 20,000円（定額）
②ー2 連携病院で出産するための滞在などに要する費用	・連携病院で出産するための滞在費 ②ー1で超過した場合 ・事前滞在にかかる交通費 滞在先への移動 出産のための移動 退院時の移動	超過泊数×実費（1泊：10,000円を上限） 実費

たとえば、Aさんの場合 概算払いを希望
出産予定日は令和6年12月22日、出産日は令和6年12月24日
連携病院は香川県立中央病院、宿泊はホテル（1日6,000円、食事含まない）

①妊婦健診などに要する費用（自宅および事前滞在先から連携病院での妊婦健診受診）

妊 婦 健 診	年 月 日	経 路 ・ 手 段 ・ 費 用	※1 交通費の考え方
滞在前	妊娠30週 R6.10.12 妊娠36週 R6.11.24	1,730円 × 2回 3,460円	フェリー代 往復 1,330円 豊島船代 往復 2,700円
滞在后	妊娠37週 R6.12.1 妊娠38週 R6.12.7 妊娠39週 R6.12.14 妊娠40週 R6.12.22	自家用車 滞在先から病院までの経路：バス 高松駅 ～ 県立中央病院 400円 × 3回 1,200円	バス代 往復 1,440円 医大 400円 県中 400円 日赤 400円
		合計 4,660円	

※タクシー・高速艇にかかる費用はできません。
※滞在後の交通費は、滞在先の最寄りのバス停・駅から病院までの運賃。

②連携病院で出産するための滞在などに要する費用

（宿泊費） 事前滞在開始年月日 令和6年12月1日			
事前申請	出 産 予 定 日	滞 在 日 数	宿 泊 費 用 （ 円 ）
	令和6年12月22日	21日	6,000円×21日＝126,000円
実際	出 産 日	滞 在 日 数	宿 泊 費 用 （ 円 ）
	令和6年12月24日	23日	6,000円×23日＝138,000円

※食事代は助成の対象となりません。

（交通費）自宅から事前滞在先までの移動や出産の際の移動などにかかる交通費

	年 月 日	経 路			交 通 手 段	費 用 (円)
滞在先への移動	R6.12.1	自 宅	⇒	土庄港	自家用車	0
		土庄港(車)	⇔	高松港(車)	フェリー	13,360円
		高松港	⇔	ホテル	自家用車	0
出産のための移動	R6.12.24	ホテル	⇒	県立中央病院	タクシー	900円
退院時の移動	R6.12.29	県立中央病院	⇔	高松港	自家用車	0
		高松港(車)	⇔	土庄港(車)	フェリー	13,360円
		土庄港	⇔	自宅	自家用車	0
					合計	27,620円

※タクシー代(助成対象)は領収書、車両運搬時は領収書などが必要。豊島は高速道路料金も対象。
フェリーで車を運搬した場合には、車両運搬料＋同乗者(妊婦分)1人分は助成の対象。
例)普通車5m未満 往路 6,330＋700(妊婦)＋復路 6,330＝13,360円

●妊娠30週以降で②ー1の申請をする。（概算払い希望）

例)	宿 泊 費	(上限) 100,000 円
	準 備 金	(定額) 20,000 円
	合 計	120,000 円

出産後に精算払いとなります。

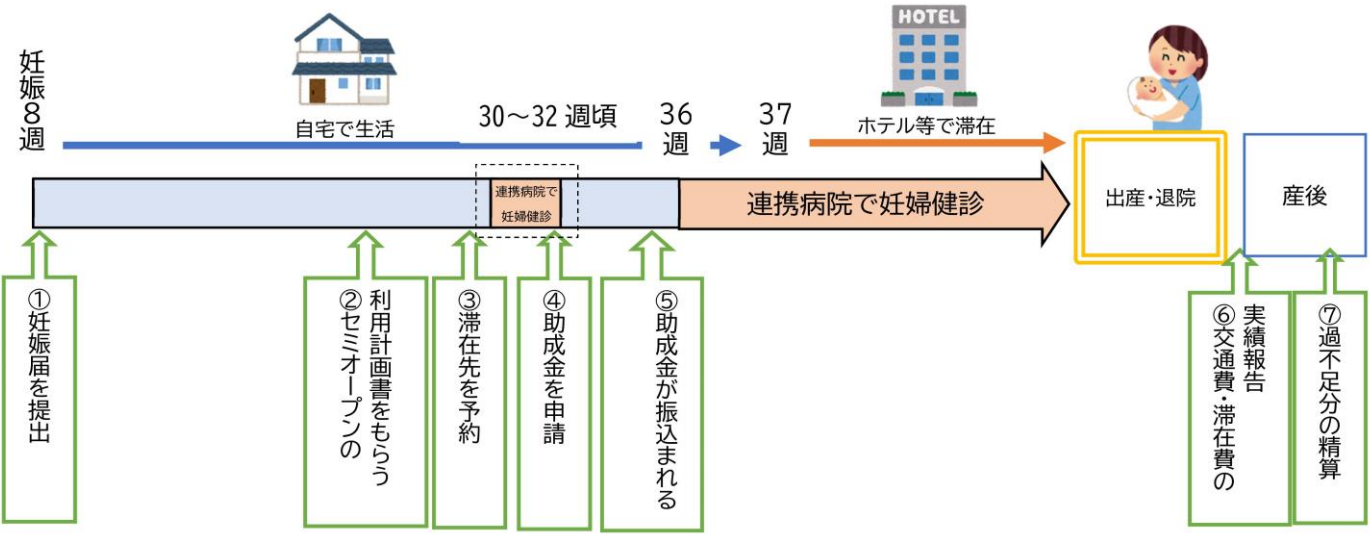
●出産後、必要書類を添えて①と②ー2を実績報告し精算する。

①	妊婦健診等にかかる交通費	4,660 円
②ー2	宿泊費 6,000円×23日分-100,000円	38,000 円
②ー2	交通費	27,620 円
	合 計	70,280 円

Aさんの 助成額	190,280 円
-------------	-----------

なお、妊娠30週以降に申請し、事前に助成を受けた宿泊費より実際にかかった宿泊費が少ない場合には精算払いとなり、町へ差額を戻すことになります。

申請の流れ



助成の対象者

- 小豆郡内に住所がある妊婦の方で、小豆島中央病院においてセミオープンシステム利用計画書を記入してもらい、うみまちサポート(小豆島セミオープンシステム)を利用される方です。
- 小豆郡内に居住実態がない方、その他、町長が不適当と認めた方は対象となりません。

申請時に必要書類を確認しましょう。

妊娠30週以降の申請時に必要なもの

	セミオープンシステムによる出産費用補助金交付申請書及び概算払請求書
	母子健康手帳の写し(妊娠経過がわかるもの)
	小豆島中央病院セミオープンシステム利用計画書
	ホテルの予約確認ができるもの又はマンション賃料契約の請求書
	預金通帳の写し等(金融機関、口座番号の分かるもの)

出産後の実績報告時に必要なもの

	セミオープンシステムによる出産費用補助金実績報告書及び精算払請求書
	交通費明細書
	妊婦本人・付き添い者の船の半券 (車両を乗せた時・人のみの利用時も半券の保管をお願いします。回数券を使用した場合、利用後に券を回収されるため、うみまちサポートを利用する際は、窓口にて切符の購入をお願いします)
	滞在費がわかる書類(滞在日数や料金等がわかる領収書等)
	その他必要なもの タクシー利用の場合の領収書 フェリー(車両運搬時)の領収書 高速道路利用時(豊島のみ)領収書など利用が分かるもの など

〈お問い合わせ・提出先〉

土庄町健康福祉課 (本庁舎2階)

電話:62-7002

うみまちサポート助成 (小豆島セミオープンシステム)

